



LIBRARIES

UNIVERSITY OF WISCONSIN-MADISON

蝦夷行程記 = Ezo kōteiki. [vol. 2] 1856

Abe Shō'ō

[s.l.]: [s.n.], 1856

<https://digital.library.wisc.edu/>

<http://rightsstatements.org/vocab/NoC-US/1.0/>

The libraries provide public access to a wide range of material, including online exhibits, digitized collections, archival finding aids, our catalog, online articles, and a growing range of materials in many media.

When possible, we provide rights information in catalog records, finding aids, and other metadata that accompanies collections or items. However, it is always the user's obligation to evaluate copyright and rights issues in light of their own use.

蝦夷行程記

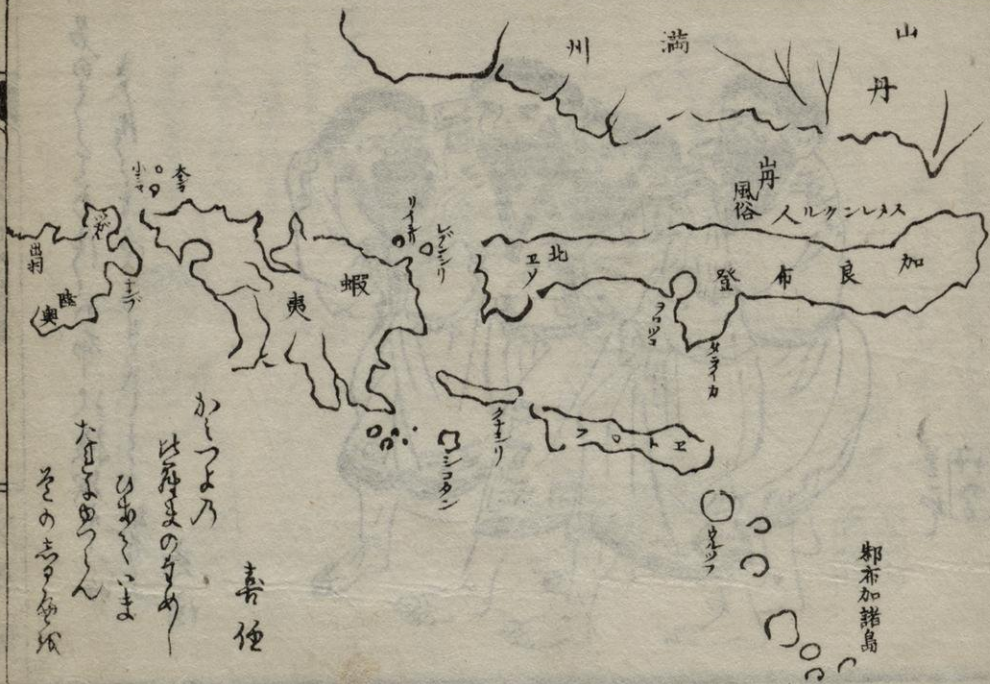
下



1.

東城
吉有

蝦夷遠境大槪



郡布加諸島

喜佐

かきつよ乃

は海まのやめ

ひあゝいま

たけしよつん

そのちやあは

男の〜〜〜あはれの布は撥水ありみ
きは〜〜〜冬よ〜〜〜し〜〜〜ありの

光徳



羊二
十の

幕本成富君之園君吾
友人竹亭之先人也

謙居



廿如之

えんてんてんハ

えんてんてんてんてん

皮と竹も

ちよかきねん

ちよかきねん

ちよかきねん



あゝあゝ一さあ
光義

子供乃おまも
さつや中代ハ屋ま
こゝろあん



子二
十
四

蝦夷行程記卷之下

江戸

阿部喜任纂述

伊勢

松浦 弘校合

○東廻り村々倭こ部

箱館

大野ト
八里

其地理ハ悉考ス不志ヲ得セシヤト也ト

松尾昌の地あり狐毛のふくある出流ト

あり只憾むる所の南よふありあり。狹形と出ト

て急田。七重溪と云々。右の方松尾と云ト

こ道より。一本本村へ至り小溪の地とト

。子代田村へ至り余カチ川を渡りカチト

村畑をあり無辺東のふ乃方新田ありと云ト

。大川。七重と云々。文記の比秋田系内ト

南終津燈台より人民を呼寄りて新

開わたり地あり石の山乃方ふ。文月。ニゴリ

川などりる村あり。海岸の通る津形より

大森。湯の川川尻へ砂川ありぬる後里越へ

志のり人承世水余。狭瓶沢人承世水余。この辺

より長崎出用の昆布と云ふ。汐泊人承世水余

。石浜人承世水余。津越沢度へ。八木を人承世水

余。小安人承世水余。汐首人承世水余。この岩

沢汐首神と云ふ道より山の上を登り又山を

りて。湫田内人承あり。蓬田人承あり。戸井

人承あり。ム井の神社と云ふ。谷々女人承あり

。原木人承あり。立石神の上を登り。知岸内

人承あり。コンブイ人承あり。根田内人承あり

此のより羊腸坂とよろく湯本まゝの温泉を

恵心上の宮ありまゐりあり 泉ありいんあり 山は硫黄多し

小幡ありこの下より箱館と申すより又と

風景あり又九折坂とありて。ト、法華村

あり人衆六十許。ニマトマリ人衆廿許あり

オホノ
大野

人衆百許余會和ありも人多しあひま 妓およ

ワシノキレ
八里七丁

女おんな ありあり 畑作ありはたけ 夏二季の

も漢獵多し。本々村人衆廿許の遊り

村人衆六十許許味のヤ人衆四十許この不

張花をあり世より坂と申す程より力足味

知こそと返分ありかへり 本郷を衣力ヤとや

あり。小沼味この下は大沼小沼とのみこら乃

沼あり。ニユク人おんな 松本より建立したて なる

わりの中食とどへ。焼六。コノタイとるまてまこ

近分ふ身右ハ。ヲニラナイへるたハハる

あく森村へ寄。森村人聚る人多く妓女

あり。マとい。孫をさう我来るものと交あく

出合あり。高さは川河系廣く

コニグイより掻送る船あくエサとの下地

由りてト、法華みゆくもより法道とも風

あくと死ハをりがく。この肩破をとのよ不

五温泉あり。世不よりフルベ出はゆき。掻

送る船あり。フルベ人聚あり。尾札於村人

聚百水伴命不あり。河汲村人聚水伴此

上女丁極はがりと温あま湯の湯とく。聚彼

よりこまふまふ湯の湯より上湯の川出河汲

愛積武山の図



敏茶

みあつて此あ

かろい

おとあひ

えそろいぬき

都ひら

ハコタテ

フホク

イヤ

セタテ

十?

清とてよく湯も入物一日既あり。イタキ人

あり。白尻人亦八十許松をり浦あり合

老アト云老ト云

不族人亦二村あり。まゝ村のト云亦云清と

マコ小島あり七をり浦あり一此辺熱て新

籠の石地也ま冬月ハ漢獵也

の清とて西はバ。クマトマリ人亦云。祇園人亦

馬温泉あり。ボロ松あり川もろろ大沼小

沼より流是亦あり。麻於人亦あり。テをマ

人亦云。砂系人亦百羽系松をり場あり

ぬい百名の松を入るべ一妓女あり 字ニシタ

二内人亦あり此辺畑也一畑乃沢のきく

村也く物字云ん此不樹木多一約が岳

とのへる云此上ふあり

カクハシこの人

鷲フシの木キ

山越内ヤマノケ

五里ゴリ

人家二百餘オコト并畑ツラを作ツクり漢獵ギョウリョウ地

ふも取オク入村イリムラのオコトをオクるオコト陸相藏リクサウザウと

りオコト妓女オコトメあり長僧チヤウソウ倭袖ワセキ方會オコト不フあり。エヒヤ

ユタニ人衆オコトあり。峯登任フトスヘ村人衆オコト六七十オコトあり

浴オコト之オコトの小者オコト人オコト猿蓑イヌノモありオコト鷲木フシノキ村オコトよりオコト此オコト迄オコト

まオコトくオコト皆オコト是布イヌノモとオコトとオコトるオコト岩イハ生オコト俣川オコト船渡オコト一オコト十オコト文オコト

ありオコト仕度オコト不フありオコト中食オコトとオコト下オコト

此川オコト筋オコトとオコト源オコト且オコト六オコト楢オコトのオコトありオコトまオコトくオコト温客オコトもオコトあり

元七八里オコトもオコトはオコトがオコトくオコト又オコト捨オコトのオコト作オコトとオコトとオコトとオコト

江差オコト左オコトのオコトアオコトヌオコトルオコト村オコトのオコト山オコトはオコト物オコトとオコトよオコトうオコトはオコトたオコトとオコト困オコト

くオコトはオコトたオコトよオコト車オコト箱オコトのオコト便オコト利オコトとオコトもオコトあオコトるオコト

川オコトとオコト渡オコトアオコトとオコトくオコトノオコトタオコトヲオコトイオコト人オコト衆オコトありオコト。又オコトマオコトシオコトリオコト人オコト

衆オコトありオコト上オコト下オコト小オコト派オコトありオコト小オコト石オコト系オコトのオコトとオコトあり

山越内

シニヤミン

九里三

古地地と振夷の境とて柵と結

ひ出入の人乃切とを及びとぞ

上原を水人亦八十又六水あり湊獵者三十

四馬八十余丈とつう船皆沖をう

若夜を鮑鮑雜英由押船等あり。サカヤ

川人亦あり。ヤウラウフも亦人亦あり小休不

まぐり。東岩ふ小根坑あり及なく中食を

たり。モクニスイ人亦小川あり。来武宿移

川を十る余船渡り人亦あり小休不とをド

この不より福地のセタナイトシツ城とのふ

城のをあり。ワルイ人亦あり。モニツ小川を

シニヤミン

シニヤミン

六里半

心コニナイ支配あり大妻を止宿と

たり人亦あり船渡りの川あり船あり

源ヒノへヒノ松川ヒノより出ヒノ

世ヒノわよりヒノ松松ヒノナイヒノ越ヒノ々々ヒノ六里ヒノ中ヒノくヒノ福岸ヒノ

ヲヒノタスツヒノへヒノ山ヒノ越ヒノのヒノ尾ヒノありヒノ山中ヒノ小ヒノ坂ヒノありヒノとヒノり

砂ヒノ浜ヒノをヒノ二里ヒノ俣ヒノひヒノくヒノ茂ヒノ行ヒノ小ヒノ川ヒノありヒノ風ヒノをヒノたヒノとヒノき

をヒノこのヒノ木ヒノよりヒノ捨ヒノ送ヒノうヒノ船ヒノをヒノてヒノゆヒノべヒノ九ヒノ折ヒノ坂ヒノをヒノ

吹ヒノくヒノくヒノ。ライヒノバヒノ小ヒノ体ヒノ和ヒノありヒノ。ホヒノロヒノナイヒノ味ヒノが

トヒノレヒノ子ヒノイヒノへヒノりヒノレヒノズヒノガヒノ川ヒノとヒノ流ヒノくヒノくヒノ沢ヒノへヒノり

このヒノ辺ヒノはヒノ虎ヒノ杖ヒノイヒノタヒノりヒノ多ヒノくヒノきヒノくヒノきヒノくヒノ生ヒノきヒノり

茂ヒノ行ヒノ小ヒノ体ヒノ和ヒノありヒノ世ヒノ和ヒノよりヒノ船ヒノをヒノり

ゆヒノけヒノむヒノ。イヒノメヒノクヒノモヒノシヒノ殺ヒノ破ヒノありヒノ。イルヒノモヒノイヒノツ

サヒノキヒノ岩ヒノのヒノ出ヒノ神ヒノありヒノ。ホヒノロヒノナイヒノ其ヒノ外ヒノ小ヒノ名ヒノ屋ヒノ

岩ヒノ屋ヒノのヒノ観ヒノ音ヒノとヒノりヒノありヒノ其ヒノ風ヒノ景ヒノ愛ヒノふヒノ人ヒノの

眼ヒノ目ヒノがヒノ見ヒノるヒノよりヒノ世ヒノ和ヒノ海ヒノ船ヒノ海ヒノ船ヒノ多ヒノり

七世... 五... 七...

レランケ
禮文化

アフタト

五重六丁

アフタ支配あり大妻登あり止宿

とて一人衆あり船をりあり死をん

妻登初より進分中右を海岸をり走破

ありと難死あり

世取汝死にま六被取りとて一。モロウニ干

イ。ヲフテニ川橋あり長き女留許小徳和

人衆あり九折坂とやうく。コレツ津この

津とより松送り船中々大若押とやうく

へんべ小休漢場あり船渡りの川ありそま

より又津とよまう。ホロナイ津世三の

津いづれも樹木密著しく日光もみらぬ

者ふぬくく跡軍一かた。ホロナイ川

あり小流あり

安布田

道上一層を引人衆百六十引渡

ウスレ
一里

小倉十引余あり船をよるこの

地砂浜あり夜をう寝るうらひ産物麴糖

多しまた鮎と雜奥呂布拍雜木喬

藜馬中子熊多し船より牧あり丸馬

の敷千疋とのふ文化二年小宮より置あふ

不きり砂浜とひく。こまエバケより直切の

野乃とひてウスへ島 海上六十里 まる夜の

方海岸よりおも小シレト 大シレト 岩テ

ヤテケとのふ大石あり

得春 道上一層を引人衆百六十引渡

モロラン
六甲六

多道と願下ふかる酒ありと宮

漢中水水産物ハ麴糖鮎文の魚ワラツカ

七海道 七下 六

帆立貝ほだてい 雜夷海ざいあ 嶽たけ 山中やまなか 鳳尾松ほうびしょう の数かず 多おほく

熊くま 多おほく 鱈たら の三百ひゃくご の料りょう ありとこのふしの数かず 多おほく

善光ぜんくわう あり 信州川しんしゅうがわ 中流なかつりゅう のうほくを海うみ に出い

字あざ 之の 文化ぶんか 度ど 世よ 地ぢ よ西にし 延のび 又また 世よ 取と りの牧まけ あり

馬うま の救すけ 子こ 丈だけ もあやととぞ右みぎ の方かた よ洞ほら 穴あな の地ぢ

着き せ 湯ゆ 内うち の海うみ 岸ぎし ふあり 少すく くはく。ホニウス

裏うら 登のぼ あり。エト仰おほ。ヲタムイととととま ヲサルベ

ツへ物もの あり

まきたの方かた 野の 及およ と一ひと 里り むく切き と九こ 折を 坂さか 二

かろととととの 凡たゞ 一ひと 里り むくりありて向むか ぶ其その あり 向むか

の形かたち とあせむ鉄てつ く者もの るるのあらん者もの よ硫い

黄わう 燧わい とととととの 向むか よウス泥ぬ あり 周まわ り十

二ふた 石いし 屋や 津つ あり 波なみ 浪なみ あり 中ちゆう 小せう 津つ 三さん ツ

帆立貝類魚海獸山中五鳳尾松の敷多々

熊多々 麩六三日之料ありとのふ山の麓に

吾光あり 信州川中橋のうへへ光澤出

字ん文化度世地よ山建立又世取あも牧あり

馬の敷子丈もあまを右の方よ洞窟の地

霧巻浦内海岸ありわくわく。ホニウス

裏屋あり。エト仰。ヲタムイと云々ヲサルベ

ツへ歩あり

まきたの方野屋と一はむう切く九折坂よ

かるよとと元一里をうりあて向か無あり向

の形とあせむ欽く名るるめあらんまよ硫

炭とくとまうその向よウス泥あり周り十

二石を底深くあま波浪ち中よ小橋三ツ

又日本紀より後方羊蹄山は猪川の富士
シリベシ
 かと歌う且つ付とも小白を焚ひて死て大天よ
あぢをら
 実ゆきと云ふは海牙一の青嶽ありサツホロ
きんぐん
 と申す西少あふる也

ヲサル川と海牙とくふ入且つモこトウヒツガ
ぞん さうのたか

ブナ。カツラ等の良材ありウスふもまこ良
しん ほんくさ

茂多一野末とゆくと女丁津とて。ニニウモ
あふ のまら ゆ メウ

エマかゝ小舎死坂ありまゝ野末とゆくと二里
まま こやう さう のまら

合つて。ヲサルへツ船渡一人舟小体不あり鮭
あひ かふ こ こやま

の漁場あり。モニベツ小川急流あり人舟あり
わうた きんぐん

イマリマリフ小川も小体不船辺平地ふし七野
このん ひらち

乃海岸小石の河系あり。子マエベツ小川あり橋
こまへ はし

坂架を夫より羊蹄の作と称るこの下北御
さか

邦ホロエシとのみ

モロラシ

えんきうや 官上屋を舟人取付十羽漢中屋十

ホロヘツレ

五里半

かまくら 舟余船をうへ世不とエトモ伸の石 まゐりおん

あらしう と白鳥の浦ともまゝエトモの浦とのみ いん

おん 人由知りう大船救百艘と入るを死場不心 わーよ

まろち 浦内子大屋備とゆふをあり まど 産物鮭船鮭船 まゐりおん

ゆりこ 煮海前帆立貝を外雜莫海新海州多し まゐりおん

こさげ 不より一ツの出伸をそこ世取エトモ伸とのみ まゐりおん

しんせうとかんしよ 小きえんま取をそ大砲の世依あり あせをへ 業をよ

こさう 不と登前より小坂をとえ。ホシヘテレヲタ

おぬこち 漢屋ありヘテレヲタ これ 舟ありひ屋。ワヌコ小川

こさう 小休不あり。チクベツ小川あり昼休不あり。ワ

のまう ちベツ小川ありと世より野屋あり おぬこち 追分あり此

不あり海岸。トシテ谷地川を船渡あり

帆侶川 ホロハツ
五丁 えんぢやう 船渡あり

七里 シラサイ 丁 チヨウ
二羽馬 フタバ 由八十余 よとじゆ 段あり南うけ乃

段地 だんち あり船の直上 なほ 存あり

を差 さ 相 あひ 入 いれ 雑 ざつ 雑 ざつ 莫 ま 多 た 一 いつ 目 め 下 した の の 僅 ひづ あり

九 く 折 せ 坂 さか を を 上 のぼ る る 九 く 六 ろく 丁 ちやう。一 いつ 目 め 下 した の の 僅 ひづ あり

海 うみ 上 かみ 下 した 張 は 出 で づ づ 風 かぜ 景 けい あり

。又 また 九 く べ べ ツ つ 橋 はし あり

世 よ 和 わ あり あり 山 やま 乃 の 二 に 重 かさね 件 けん 上 のぼ る る 梳 く 篋 か あり

温 ぬる 泉 いづみ あり あり 山 やま 中 なか 廉 れん 態 たい 多 た 一 いつ 目 め 下 した の の 僅 ひづ あり

根 ね。一 いつ 目 め 下 した の の 僅 ひづ あり

フ ふ ミ み コ こ ベ べ ツ つ 是 こゝ ホ ほ ロ ろ ツ つ と と シ し ラ ら フ ふ イ い の の 境 さかい 也 なり。フ ふ モ も コ

ベ べ ツ つ 川 がは を を 深 ふか 小 こ 舟 ふね を を 昼 ひる 休 やすみ 不 な と と き き 人 ひと 取 と り あり

。メツフ人衆あり。ニキウ川あり。ちが六十石先

。源源。漢漢。少少。人衆あり。小体不。ウヨロ川あり。

十八石。松松。源源。人衆あり。僅僅。少少。シラライあり。

思浦ミラライ者イ。宜宜。上上。石石。人衆八十石。余漢余漢。少少。

ユウフツト。九里。十石。竹馬竹馬。八十石。足足。あり。松松。ち

沖沖。是是。あり。ち。ち。後後。を。産産。相相。韃韃。鞆鞆。韃韃。鞆鞆。英英。是是。布布。

麻皮麻皮。韃韃。へ。七七。百百。石石。目目。を。ち。ち。の。入入。シラライ。英英。ふ

ハ。徳徳。麻麻。多多。一一。枚枚。ハ。モ。エ。ツガ。カ。ツラ。を。外外。韃韃。本本。

多多。一一。シ。モ。ツ。ナイ。小川。漢漢。少少。あり。シ。マ。タイ

川。有有。人。衆。漢漢。少少。あり。ベツ。ブツ。韃韃。漢漢。の。少少。あり。

。タ。ル。マイ。世世。辺辺。韃韃。漢漢。多多。一一。皆皆。韃韃。飯飯。出出。ま。り。以上。不

。垂垂。冬冬。岳岳。と。り。入入。る。の。あり。意意。尊尊。大大。師師。の。関関。奉奉。と

。ハ。ホ。ウ。川。有有。漢漢。少少。あり。ユイ。ト。イ。壺壺。休休。

七海道中記下
七
花
明

あり。マコマイ小体あり。皆平地砂地

裕富津 宜上屋を水人取二百三早水渙

廿九日 小倉早水取の沖をりて是後没

を産地へ海温を更雜更多く魁二十七八

百石目と少き船多く馬い八十余ありて宜と送

小使あり山中小館あり紫根多しと是より

窟ふ然とえ美より石塔へりさあり此三ツ

とい小地名唱あふととく文化三邊の田を束止

五物の多く居るありととく千歳と改らる

ユウツ川橋あり。サツトウ小派を橋る。アツ

マ川をそむ世百船渡し小体不人取あり此は原

人取多し義経の古跡自然あり。ムカワ大

川ありと六十年余船渡し昼体不人取あり

此より右の方漢をりありた如く平之を

あり。フイハフ。サルとユウヅツの境あり小体如

る。トイフ元是とサ川との小船渡りあり人

家小体如あり。ヲコタヌサル人あり小川を

この辺の地名字多し

ムカフより右の方。フイハフサキ漢少をあり

。サルツト漢少を有。モノタイ漢少をあり

。モノタイ人あり

積累 官上居き人約二百名斗漢小

ニイカツレ 倉十名余也松の皆沖子あり

海州魚類多し香草中少良枝多し熊

鹿多し銀あり寛政後也同費の地あり

七海道日記下

元東タノヘこの地チハモニベツ二のえとのハサルハ世さうやう辺への熱あつ名

あり。モニベツ川カネベツ橋あり。カムイカニシ、夕ゆふ九く漢かん小

屋やノ家けあり。チヤラセナイ小休こやすこ無あり。フ

クモこニ人ひと家け漢かん小こあり。小休こやす無。ユウゆうニヤ小

川がみありサルさとニイカツさうんフの境さかいあり人ひと家けあり。

アツあつヘツへつ弘こう漢かんノの川かわあり人ひと家け漢かん小こあり小休

無あり其外そのほか小名おな多おほ一いっ実ま子この方かた小美こみ多おほ一いっ

又またあるあり

新ニイ葛カ布フ 宜よろ上かみ之の衣えヲを人ひと家け面めんヲを余あま馬ま也

四よ里りニに 八やち十じゅう余あまり弘こう漢かん小こ十じゅう余あまり有あららけ

乃な暖ぬる地ちあり世よ辺へ肥ひ沃よくありいん田でんをを沃よくひひららく

冬ふゆノの躰たハは百ひゃく石いし目め多おほ矣や海うみ疆きょう大おほニに莫ないいとと

其外そのほか雜ざつ莫な多おほくくまま昆こん布ふ海うみ州しゅう也や也や中ちゆう

子六麻まうろま良枝多一むらぎ全根坑ぜんこんあり。ニイカツブ

川かわをを又また十じゅう百ひゃく多おほくくサさ多おほくく余あまとのよム

リイトエりいとえ漢かん少せう巻まきあり。ヲをラらリり漢かん少せう巻まき余あま少せう小せう休しゅう

取とあり。シしニに又またツつ境まゝ杭かたありあり小せう川かわ多おほくく。シしヒひチちヤやリ

川かわ多おほくくサさ多おほくく余あま船ふね渡わた一いつ人ひと少せう休しゅう不ふあり。ウ

セせナイない小せう休しゅう不ふ人ひと少せう漢かん少せう巻まきありあり船ふね渡わた一いつのの川かわあり

。ウをラら川かわありあり橋はしとと架かきき人ひと少せうあり。モもニにベべツつ川かわ多おほくく

船ふね渡わた一いつ人ひと少せう漢かん少せう巻まきあり。ヲをシしヨよシしナイない小せう川かわあり

人ひと少せうあり

室むろ内うち 屋や上かみ巻まき水みづ人ひと少せう百ひゃく世よ水みづ余あま漢かん小せう

一里いちりサさ丁ちやう 舟ふね水みづ余あま船ふね渡わた一いつ人ひと少せう百ひゃく世よ水みづ余あま漢かん小せう

馬うま七しち余あま氏しありあり産うぶ地ぢ船ふね大おほくく魚いさな鰯いわし海うみ前まへ

海うみ州しゅう昆こん布ふ雜ざつ魚いさな多おほくく一いつ外ほか麻あし皮かわ不ふあり。チちヤ

ラセナイ人衆あり。ラシユウ人衆あり。ホニラ
シユウ人衆小川あり。ルタアニナイ漢小倉又
小川あり。フツニ境杭あり。ニラコシ小川あり
。カシユシラリ人衆あり。良茂多く。麻熊營
多し。海岸は鉄砂を南うけの暖地あり

三ツ石
ウラカハク
五里

河上倉人衆早水伴漢小倉水
集馬百廿余匹よ乳酒か一船定

上倉中よりなる。産物ハ麴、鮎、鮎、鮎、海鼠
昆布、海州、又雜莫多し。一中雜樹多し。藁
多く出。麻熊營海岸は鉄砂あり。海獣も
たましくあり。小倉をよりあり。三石川を以て世を余
海深く長くあり。海へ人衆漢小倉あり。へせ
ハハ漢小倉あり。シリイト漢小倉をよりマフ

川を舟月船ふねに人衆小体不あり。ヲニウニ

境さなわ杭あり。イカニウニ漢中を去る。モトウラカワ

川ありを八十余里せき激湍つちくしてきつりあり

人衆漢中をあり。イカニタイ人衆漢中を小川

あり。ヲマウニ漢中を小川あり。ムコニツ人衆

漢中を小川ありホロベツよりエリモ押おまく六

十里許ちり越こえ南句なんぐの阪地あり

浦川ウラカハ 宜いん之し倉人衆八十里余漢中を六十

三里しやまニ 許あ船ふね涸かわれ且かつ下したも七百石しちひゃく位ばいを

幾いくあり産物さんぶつ麴もち糖とう糖とう糖とう糖とうと海州かいしゅう昆布こんぷ海

獸ちゅう雜ざ莫もく多た一いつ又また麻あ皮ひも出でる。ウラカハ川を

六む百ひゃく里り余あ六む里りあり。ムコニツ川をむら廣ひろく

水原みづはらより五里ごり余あ五ご里り良りょう枝えだ樹じゆ木もく森しんとあり

又回窓でんまと開ひらく窓まどの地ちとのみなり。ウロコツ人

お小川あり。へしホケ漢かんあり。ホロミマ漢かん小

をあり。シリイトモ人ひと漢かんあり。ホロベツ川

あり。むが六千百むさう歩あひ。あ深ふかまが九里くわとあり

人ひと漢かんあり。境さかあり。宇う熊くま多た。ウラ川が

ホロベツの川が口ぐちまがイカノタイあらいそ荒あ破らをまあり

ありともありともありともあり

車クルマ摩マ尼ニ 官えんと人ひと漢かんあり。汗あせ漢かんあり。十じゅう新しん

六里むさう土つち 汗あせ船ふねあり。溜たまあり。あ友とも押おしの對たい

時ときまがあまをる溜たまあり。あ石いし突つあり。あ風かぜ意いあり

とあり。エサと神かみ海うみと女め里さと小こ極ごく四十しじゅう度どあり。あ十分じゅうぶんと

蘭らん人にんあり。あスす別べつあり。あ産うぶあり。あ海うみ小こ籠かごあり。あ

輕かろ異い布ふ雜ざ魚ぎょ漢かんあり。あ海うみ獸じゅうあり。あ又また熊くま皮かわと出であり

久こ上かみ厚あつ沢たく二に等とう持もち院いんととつつ天てん台だい宗そうのの有ありり文ぶん

化くわ中ちゆう建けん立たつ社しゃ祀しよりより少すく一いち畧りやくととりり。カカ子コカカルルウウ

之これ漢かん及及。ソソフフケケニニ小こ川がありあり。長ながよりより左ひだり右みぎ不ふ分ぶん

是こゝ心こゝろ在ありり。ココトトニニ小こ川がをを橋はしをを架かきき小こ

休やす所とこ。ヲヲホホナナイイ小こ川がをを橋はしをを架かきき。ココママモモナナイイ小こ

川がをを橋はしをを架かきき。ワワシシヤヤハハツツ城じやうととりり。ホホロロママニニハハツツ

へへりり。川がをを舟ふねをを余あま船せん渡わたりり。人ひと亦また昼ひる休やす所とこありあり

ウウニニハハツツ為な深ふかまま。二に里り余あま。ニニヤヤママニニ川がをを舟ふねをを余あま

舟ふねをを余あま。ニニヤヤママニニ川がをを舟ふねをを余あま。ニニヤヤママニニ川がをを舟ふねをを余あま

樹き木こ多おほくく何なに種しゆのの枝えだ木こもも自みづからら有ありりとと

ソソフフケケニニよよりり海うみ岸べをを舟ふねをを余あま。メメチチニニトトママリリ定さだめめ

舟ふねをを余あま。メメチチニニトトママリリ定さだめめ。ココトトニニ人ひと亦また小こ川がありあり。エエハハナナイイ漢かん

水みづをを舟ふねをを余あま。ココトトニニ人ひと亦また小こ川がありあり。エエハハナナイイ漢かん

七海道記

大岩あり。ルランハツ小川有。チハトイとるく

あると出合あり昔ハ世たを子のサガ亭

和度と最最上の二子世た所因とより今

みゆりう海岸とるる昔来と免る其功

尤大まうとつ下。ホロベツよりウトルサシ

ナイ漢小倉あり。ルサキ境あり。ニカニベツ

川をたふ二子。ホシウエコタニ漢小倉を小

休和。アハヤキ小川有。エニルモ小川と海所

仰とまうとるあま

母衣泉

石上屋ま水人

家早水行漢小倉

六里六丁

百二平水馬百家改あり歌酒を

福向ふ

酒内膳進多

酒歌能く亮をる

小倉免

産物鱈鱈鱈青奥昆布海獣海

艸くさの新あらた多おほ一ひと中なか小こ麻あし熊くまト、櫻うづ其その外ほか雜ざう樹じゆ園えん

岩いわ神かみ狀かたち少すくなく也なり。ユルゆるフルふる小こ川がはあり、紐ひもあり、石いし已おほ

及およ而しても、久ひさしき、モセウもせうスすナイない小こ休やす不ずあり二

里さと許もとあり。アあフふ子こ登のぼ休やす不ず也なり也なり。坂さか及および、

雜あそあり。トヨとよ三さん津つあり、石いし浪なみあり、少すくなく也なり也なり

。サル、川がは小こ休やす不ず。ノホリのほり丹に、川がはあり

元もと元もとより海うみ辺へあり、岩いわ破やぶあり、大おほ雜あそ不ずあり、

。ラらタたベべツつ小こ川がはあり、エえントんとモもアあ漢かん少すくなく也なり。シしニにマまウう

スす漢かん少すくなく也なり。エえントんとモも漢かん少すくなく也なり。アあラらコこマま漢かん少すくなく也なり

石いし名な紐ひもの糸いと漏もらあり、紐ひも辺へあり、大おほ岩いわ押おしと、

。エえリりモもサさキきコこトとオお一ひとの神かみあり、糸いと少すくなく也なり也なり、

。ラらコこシし漢かん少すくなく也なりあり。シしヤやウうヤや紐ひも辺へを、更さら漢かんと

ハは漢かん少すくなく也なりあり、エえリりモもサさキき小こ換か早はや二ふた度たび也なり也なり、

七海道中記下
古
文
花
月

水みなのシヤラヤ。トウツツの津つぎにミセサ

ルへおぎこ道みちよりなるけの海岸うみべありエリ

モサキよりシヤマニ七十七里ツツナイニ三

里アツケシへ及および四十二里といふ

佐留サル々

ヒロウト

六里

大妻おほつまを人衆ひとあり船ふねの妻つまをトふさる

溜たま形がたへ水みづを道みちともまに流ながるるなりし

溪たにをうへヒタ、ヌシケ川がわありもふま台たいも海岸うみべを

大麴おほむぎあり。トムチクシ大岩おほいわの磯いそあり。タシ

子ソウ。ルベシベツ小川がわあり溪たに少すくをあり。ラシ

ラハツト小川がわあり溪たに少すくをあり。○陸くわをうへ

ナイの小川がわ狭せう深ふかうく。ラタクシ。ラシラハツ

小川がわあり世よをあり又また及およびるあり

ラノウベツ小川がわを流ながるあり。ヒホロ小休せうきゅうをあり世よ

不ようフレハマ王工といふ出御あり候よう云

城まきりあり

美郎 ビロウ

トウコイト
七重亭

喝すれをゆくと来トカチと改 中

らる官上をき水人取百九十羽余

漢者元世云云船六隻小町のふりて荷

役をトカチ場取女口黒二十所わり産地喜突

鱈千石目鱈海鰹煮海産多し又昆布も産

中子松松ツガ茂本多し熊麻等あり

この和の帯も直ぐ風来ぬつとよ常勝形

林の社あり候きうみく。ラツコツ川の辺に小

小休取あり川をく田所を急流あり田所日取

少目溢るとり。渡好移川ありとふ十あり

お人丸本船あり候き。アイホシユマ小川あり

北海道中記
卷之九
支那

舟体不あり。ヘル子川を舟体破りてこを

人承あり。アイボエユマ小川合承あり舟体破り

東武移 トウブイ
大妻合人承有トカチの支配あり

重平 ラホツナ
船をくはと色ひの為建

と六沼より風浪とと六沼の破らるる

難一船渡一の川あり。ホリカヤニ渡あり。ラニ子ナ

イ小休不。ライカマへ人承あり浪の破りと久ハ

船より。ユウト浪も人承あり合休不。チヨウラ

シ人承小休不あり浪の破りと久ハ船渡一東風

より西風あり

大都澤 ヲツナイ
大妻合ありトカチの支配あり人承

合八丁 ニヤクシ
止宿あり。ラツナイ川船渡

此の海に三里をかりとありトカチ川より

オホ。トイトウ砂漠あり。トカチ川を二丁
余東郷の川の父川といふ

小比才二の大河あり小比才人衆あり川の口を

オホ。トイトウ砂漠あり。トカチ川を二丁

長砂の人の衆あり。トヒヨカ人衆あり。テレケフ

人衆あり。トフチ人衆あり。トニベツフト人衆

あり。チヲタ人衆あり。フシコトカチ人衆あり

。ヤムワツカヒラ人衆あり。サツナイ人衆あり。

ヲトツ人衆あり。シカリベツ人衆あり。メモロ人

衆あり。サラロ人衆あり。ミントク。トカチの

水源あり川下まぐ凡五十里といふソフチ

よりトカチ川を下ふ然し奇石あり磨し

管とて禱きあそく光はあり

北海道中記
卷之四
支那
支那

クコ子トリ演乃。ラコツへ川あり。昼休不。チユ

クニツ川あり。十層本。船みく。後と人承り

二層とよりスリ。船あり。ヘニイツケ。エリモ。押

東うけの海岸あり

シヤクヘツ

ニラヌカレ

四里八丁

大義屋止宿の為。建。宿。了。ク。ス

リ。持。あり。人。承。り。船。渡。り。少。小

女アカレ。ハ。男アカニ。ハ。見。百。七。地。平。坦。あり。時。景

八九町。ラ。ン。ベ。ツ。を。女。船。渡。り。フ。ウ。レ。ツ。川。を

橋。を。架。せ。も。ハ。シ。ク。口。上。に。泥。あり。風。波。を。引。口

破。る。と。此。ハ。船。渡。り。あり。平。日。ハ。小。川。あり。皆。好

後。う。あ。り。小。休。取。り。あり。ウ。ワ。フ。ベ。ツ。ガ。川。を。女

汗。船。を。こ。し。人。承。り。あり。ト。カ。チ。より。コ。シ。ブ。イ

東。の。出。陣。ま。ど。廿。七。里。の。間。浦。の。磯。有。り。あ。る

海岸あり不日よ極品之地とあり

白野岡 シラノカ 大美屋ありススリ持合糸小沢を

フスリ ハ 場あり世不止宿を キヤ 是早堀

多く石演多一樹木ハ少一。フシナイ漢水

。サクニ、漢水。シヨロ、川を十匹留船渡

人家あり

此の深ハトカチ アキ アシヨロより アキ 又二方

クスリ 中 美子病郷ニヤリ アキ の アキ 境

世里許 オク 与々。ニタカロ。アニ子ナイ。アカシ

トウ アキ 世辺アカシ アキ 岳の アキ 禁あり。ニリコマベツ

。ユウタニマウニ アキ 世辺 アキ 去入 アキ 塔西 アキ マウハ

小属 アキ こと アキ あり。キ、ケシ。ヲニ子ナイ アキ 世不

ニヤリ アキ の アキ 持あり

七海道中記下

コエトイ川橋あり人遊あり。ヲタノスケ小休
不ありヲタノスケ川を千名余橋を架きて是
シヨロ川の支流あり。フレベツ小川あり橋成
架き小休不あり。ヘトマイ

久壽里

クンスリ
コニフイ
テ里八丁

官と居き人遊百五十軒汗漢小

女水汗船ハミヤ川下みそる地

形菰南倉ありと暖氣ありとあり女アカニ男ヤ

カニヤまゝなるん寿相鯨鯨海鯨鯨昔ハ鯨も

ありーグ今ハありーとあり。久壽利川を七本

名取後一官と居ることあり此水源ハ遠く佐

比よりとるといふも女アカニ山の姥よスリ根

あり夫より男アカニ山の姥よもまゝ大派をそ

深沢とる在於才二の大河中々東の母川と云

川はよりトカチ川はちかく海と十六里と云ふ

クスリ川ユラの川海に注ぐ。トコタレ。ヤニノツ子。シウ

ヒラ。トウ口ぬま泥あり上まはるを望む人後居いんごうきよを

シラリトマ泥あり因ゆア三里。シヘチヤたん夏

谷やをこ道ウチ陸地あり。ウワ小川あり。ニシハ秋

不とろ道みち云助み多ちるヌ里よ余ありて。ケ子カ

ホニケ子か子こ子こモロ。ニシハ川の川くまと云ノ子モ

口くち系けいありニシハ川の川くまと云あり。〇二ハ

難なん石いしの石いし及および田里でんり殊ことあり。ホニケ子こタイたい舟

子こモロ然しかあそそ西せい部ぶシヤリ。城じやうの及およびあり。〇三ハ

田里でんりまあり。セフカルコタン人衆あり。セアよ

中ちゆうセウせうスリトウたう周しゆう凡ぼん十じゆう里り中ちゆう小せう嶋じま一いつあり

世よ不ふよりより西せい終しゆうアあヒひリり人じん等とう右うのの三さん及およびび是こも

あどよ どと まじ つら
越不^{まじ}ありと^{つら}土人も^{まじ}種も^{つら}重^{まじ}なりま^{つら}よりあり

か^{まじ}い^{まじ}山^{まじ}越^{まじ}ら^{まじ}え^{まじ}と^{まじ}く^{まじ}。ラニヨウ^{まじ}は^{まじ}屋^{まじ}あり。ハルトル

は^{まじ}屋^{まじ}あり。ヲ^{まじ}ホ^{まじ}ツ^{まじ}ナイ^{まじ}小^{まじ}川^{まじ}あり^{まじ}海^{まじ}中^{まじ}を^{まじ}る^{まじ}。ワ

ツ^{まじ}カ^{まじ}チ^{まじ}ヤ^{まじ}ラ^{まじ}セ^{まじ}海^{まじ}中^{まじ}を^{まじ}る^{まじ}。カ^{まじ}ツ^{まじ}ラ^{まじ}コ^{まじ}イ^{まじ}人^{まじ}が^{まじ}あり

小^{まじ}休^{まじ}不^{まじ}。マ^{まじ}タイ^{まじ}ト^{まじ}キ^{まじ}海^{まじ}中^{まじ}を^{まじ}。エ^{まじ}ト^{まじ}ロ^{まじ}シ^{まじ}へ^{まじ}海^{まじ}中^{まじ}を^{まじ}

。千^{まじ}ヨ^{まじ}ロ^{まじ}ツ^{まじ}川^{まじ}あり^{まじ}を^{まじ}る^{まじ}十^{まじ}五^{まじ}余^{まじ}海^{まじ}中^{まじ}を^{まじ}あり

ゴ^{まじ}ン^{まじ}ブ^{まじ}ム^{まじ}イ^{まじ}
おんぶんや
大^{まじ}屋^{まじ}あり^{まじ}シ^{まじ}ス^{まじ}リ^{まじ}指^{まじ}あり^{まじ}人^{まじ}が^{まじ}あり

セ^{まじ}ホ^{まじ}ウ^{まじ}シ^{まじ}ハ^{まじ}
くろんえん ねんげん
由^{まじ}紀^{まじ}の^{まじ}沖^{まじ}を^{まじ}り^{まじ}す^{まじ}く^{まじ}為^{まじ}役^{まじ}を^{まじ}この^{まじ}地^{まじ}

五^{まじ}里^{まじ}七^{まじ}丁^{まじ}
なんち
南^{まじ}は^{まじ}出^{まじ}張^{まじ}り^{まじ}て^{まじ}暖^{まじ}地^{まじ}あり^{まじ}小^{まじ}坂^{まじ}ど^{まじ}り^{まじ}と^{まじ}く^{まじ}。ホ^{まじ}ニ^{まじ}ト^{まじ}マリ

海^{まじ}中^{まじ}を^{まじ}小^{まじ}休^{まじ}不^{まじ}あり。シ^{まじ}ユ^{まじ}ニ^{まじ}テ^{まじ}キ^{まじ}より^{まじ}ふ^{まじ}ま^{まじ}か^{まじ}り。ニ

ヨ^{まじ}テ^{まじ}ラ^{まじ}マ^{まじ}ナイ^{まじ}平^{まじ}地^{まじ}あり。ニ^{まじ}シ^{まじ}ウ^{まじ}シ^{まじ}小^{まじ}休^{まじ}不^{まじ}あり

シ^{まじ}ユ^{まじ}ニ^{まじ}テ^{まじ}キ^{まじ}より^{まじ}海^{まじ}岸^{まじ}の^{まじ}邊^{まじ}より^{まじ}へ^{まじ}チ^{まじ}ヤ^{まじ}ウ^{まじ}セ^{まじ}岩^{まじ}礫^{まじ}

出^{まじ}傍^{まじ}あり。シ^{まじ}レ^{まじ}ハ^{まじ}大^{まじ}岩^{まじ}沖^{まじ}磯^{まじ}より^{まじ}湾^{まじ}の内^{まじ}より

出^{まじ}傍^{まじ}あり。シ^{まじ}レ^{まじ}ハ^{まじ}大^{まじ}岩^{まじ}沖^{まじ}磯^{まじ}より^{まじ}湾^{まじ}の内^{まじ}より

入りの所は大馬場と對峙也。サクニ漢少卷あり

七ノ下内シ
仙鳳趾
大馬場人衆あり
地形ハ次ニ馬場

海ニ半陸岸
トモキ
大馬場人衆あり
地形ハ次ニ馬場

小島く見え好き港あり
既ニ外夷も稱賛する

馬場ニ海ニ二百里
撥送テ船あり
以テ今一風

あると此ハ陸岸あり
トツフト漢少卷あり

ツカコタン漢獵少卷あり
是速クスリ

ニチウニコロ人衆漢少卷あり
ソルウ。タンタカ

茶ニ同クこの所より
船あり
後ニ又六所あり

テト人衆漢少卷あり
ホニコイ漢少卷あり
又サウ

ト人衆漢少卷あり

厚結子
目上卷あり
人衆六十
船余半馬二首

六重半
余改辰己
ウケの大港あり
六船救

六重半
余改辰己
ウケの大港あり
六船救

百艘ひゃくさうと入いるる。又また港みなととせせるる。ここのの小こ崎さき磯いそ心こころ

ありと漢かん少せう女にょ水すい行ぎやう青せい地ち輪りん千せん石せき目め鯨きんぐわい鱈たう牡ぼつ蛸しやう

中ちゆうんん 二にええばば 海かい州しゆう 海かい獸じゆう 多たくく 雜ざ莫もく 多たくく 其その外がひ 熊くま

皮かわ麻あし皮かわ等らうあり 大だい神しん宮みや 并なら天てん堂だう 上かみはは 浩こう蒼そう

寺てらととのの禪ぜん宗しゆうのの古こあり 交まじ世よとと違ちがひひ 山さん中ちゆう 小せう丸まる

踏ふみ躑しゆう躑しゆう 多たくく 麻あし熱ねつ 多たくく 此こゝ池いけ 小せう極ごく 早はや 三さん 後ご 二に 三さん と

アアリリスス 船ふね量りやう せせり 船ふね 少せうくく 一いつ 十じゆう と 蛸しやう 海かいのの

百ひゃく次じ 海かいとと多たくく あり 多たくく あり 阿あッッケケ 泥どろ 因いん 多たくく 多たくく

又また 多たくく 海かい 行ぎやう 少せうくく あり 一いつ 十じゆう 川かわ 海かい 入いるる 一いつ 十じゆう

余あま 上かみ 港みなと。カカニニ 小せう川かわ 人ひと 家いえ 小せう 休やすみ 不ふ あり 此こゝ 小せう 陸りく 地ち

此こゝ 多たくく 小せう 極ごく 馬うま 少せうくく あり 一いつ 十じゆう 川かわ 海かい 入いるる 一いつ 十じゆう

多たくく 海かい 行ぎやう 少せうくく あり 一いつ 十じゆう 川かわ 海かい 入いるる 一いつ 十じゆう

多たくく 海かい 行ぎやう 少せうくく あり 一いつ 十じゆう 川かわ 海かい 入いるる 一いつ 十じゆう

多たくく 海かい 行ぎやう 少せうくく あり 一いつ 十じゆう 川かわ 海かい 入いるる 一いつ 十じゆう

厚狭子
湾乃圖

予云あかき

まよふを

乃

えをよす

あか

いさ乃

玉垣の

時習



七海道中記下
厚狭子
時習

シユモツへの川上シユモツの川上シユモツの川上シユモツあり

残川シユモツ

アツケニ持もちありせんや袋ふくろ入いれ人ひと森もり止とど宿しゆく

八里ヤマベ

まづー橋はしありなほ七しち百ひゃく余あまり川がわはやまべ赤あか真ま挑てう

花はな真ま多たーは池いけ辺へままををどどろろ平ひら山やまああくく新あらた木き良よし

良よし枝えだももありあり。カかリりニにハは小こ坂さかををよよろろ。イいトとエえチちセせニ

べ小こ川がわ休やす息み所ところありあり。ヒひテてニに小こ川がわわわりり橋はしをを架かききて

。ラらエえナなラらニに池いけ入いれアあツつケけシし。子こモも口くちのの境さかい目め休やす息み所ところ

あり。アあニに子こへへツつ池いけ川がわ下したフふウうシしンん池いけへへ落おちろろ池いけ入いれ所ところ

海岸かいがんアあキきラらスす山やま尾おありあり。カかモもエえノのミみウうニに池いけ入いれ所ところ

海岸かいがんフふウうレれシしユゆマまへへ山やま尾おありあり。ラらエえツつ小こ川がわ休やす息み所ところ

厚あつ吾わ子こ川がわ

大おほ妻つま吾わ子こモも口くち持もちありあり人ひと森もりありあり止とど宿しゆく

川舟かわふね

まづー陸くわ馬うまああくく垂つれれままづづー山やま尾お

あり新あらた街まち道みちありあり。ああーあままけけままどどももななままづづー池いけ

不より川形あり一里ノハレニ湖あり湖上四

方の眺望むより

雲川 ニシベツ 大峯屋子モ口指あり止宿ま

海上六里 此所地形東深子モ口と對一湾

の内あり捲送り船あり岸水深くゆへ溜

の内ありそな浪とそてお。ニシベツ川を四十五

余船後一轉多。ベツカエ峯屋人歌マ。トコ

タシ人歌ありノツケ虫と海上三里トツタ河

より所且大湖あり小峯多

能津家 ノツケ 人歌あり大峯屋ハ濱海の為速

五里 ニシベツ 垂くありツナヅリ糸の波口海上

又里よ之。この地乃押ハクナヅリのノテト押と

對一東葎子子モ口あり小水ニレトコあり海邊よ

北海道中記下 廿 花 月

川
道
口
詰
り
の
地
名
記
録
一
冊
の
中
に
記
載
さ
れ
て
い
る
地
名
の
一
覧
表
の
一
部
と
思
わ
れ
る
。

まゝと大湾ありてとよりニレトコへ切入ミ、ヤ
ムニエファイ物火場有。レウニキ。イキタラウシ
ココイトイ人亦便者ありトコタニより陸より
ハ碁石よ物あり。チヤシゴシ小川有

トコタニより陸より船内をゆく五六。ヒラククニイ

。カムイハウエ。イワイト。シユレハツ川有。トヒ

カラ。トホロ。チフルこの物よりコイトイへ船

ありととてこをちとて船家あり大とより外

へツグふかり

志平津 大船を人衆あり船中をうめて居

六里許 坂までこハツ川をう田十有餘深ハラス

リ船より舟あり船多し碁石の形クナニあり對

と灣をふた

志平津シヘよりシヤリシヤリ越こへトエヒエ川あり

ヲニニヨツフ小川あり。ツチ、ニツハ四里シ登

休石キイシ。タヲロマフ川長。リウル川多。ツラウハ

ツラ川多。ケ子カカ甚シなり止宿トドマ去サツナ、

より直道ナカミチ通トり。ホシケ子川子モロとクスリ

との然シカ分バ境カあり

サンテホテ漢コシ小倉あり。イチヤニ漢コシ小川あり

ラ子ヤシナイ漢コシ小倉多。チウルイ川多コシ世セ

人コシ漢コシ小倉コシ多コシ。コタンケニ漢コシ小

倉。サキムイ人コシ漢コシ小倉小川多。イシヤアニミラ

漢コシ小倉。ウエニツ川多コシ多コシ。ヨコマフ小川

人コシ漢コシ小倉あり。ルクシヘツ小川多。ニヤムカルコ

タニ川多コシ十二コシ其コシ外コシ小川多

川流口誌

知西川

シレトコ
海陸四里

大峯屋子モ口持船をうあ船

人亦る川ありを十百余船

此辺子シリと對を砂を多く平坦あり。ラウ

之川ありを十百余船は温あり。テト

ラ五小川渾小をあり。サニルイ川あり。ラチカハ

ケ小川あり。キルベツ。小川あり。ルニヤ船不

より六船二重あり。西北のルニヤへありとより

トカルムイは辺より岩礫多し。船多し。船

不多し。リウエニシリ船不よりシレトコ近

船ありを好ましく岩礫多し。船多し。又エ

ナイ小川あり。モエウニこの船をうまじ

よる船あり岩礫を多し。シエ子ユム大岩

の船あり陸より少しの船をうあり

ナウシ。イツヤ 皆老の破あり。 シトコ コ 押箱

地東地 の境あり クナジリ の千ヤクノボリと對

一粟 を ち 終あり

アツケシ の宜上 一巻 より南の海岸 子を アノツシ

ヤブ 押と 子 モロへの 形 路セア ヒワセ へ バラサ

ン 押 アイカツ フ 押。ツクシ コイ 漢 少 巻 を

此 の 沖 よ 大 ま 湾 あり 円 り 巻 を 漢 少 巻 あり

船 を 溜 あり 左 ゆ 右 ゆ ホシ モ リ 周 り 丸

八 町 許 漢 少 巻 船 を 溜 あり 右 二 巻 た 樹

本 更 子 あ

ホロ ベツ 漢 少 巻 マ ヒ 口 回 上。ワ 多 千 口 フ 漢 少 巻 あり

ヒ ワ セ 此 水 ワ タ リ 千 口 フ 漢 少 巻 あり の 沖

水 キ リ シ ヨ 十二 里 水 多 巻 シ。イ モ コ ム イ 海 と き 町 洋 あり

口海道記下 巻 文 花 封

漢小倉あり。千ヨウフニ出岬あり漢小倉を

ユルリこのしぬはを六ふらふあるこころ周囲めぐりをアタカ僅うづの海城

るゆづりるものもありゆづり船ふねをりより。ヲツカヘシ小川

ありアタカこまより子モロアタカ依あり。ウニヤツナイ小川を

花岬ハナサキ

ノツシヤムネ

子モロハ

八里ハ

おれわんや

大表おほひをおほ余あまぬぬ南みなみ向むかひひてとちひ土地とち肥ひ

よゆうざんち

沃よく暖ぬる地ぢありあ世よわわよりよたたるる事ことありあて

子モロへの乃ありいらやま平ひらのありこ木こ立たちあるある

演あま子とようとよをゆちちくく。エエ又又エエウウニニ小こ川川又又泥ぬありありり

室むろををアアニニ子こトトウウ小こ川川泥ぬありありり用もちくく事ことをを。

トトマイマイ泥ぬありありり用もちくく事ことをを許ゆる岸しををよよ清きよここら

ありありり且かつもも用もちくく事ことをを許ゆるありありり。フフニニヶヶウウへ

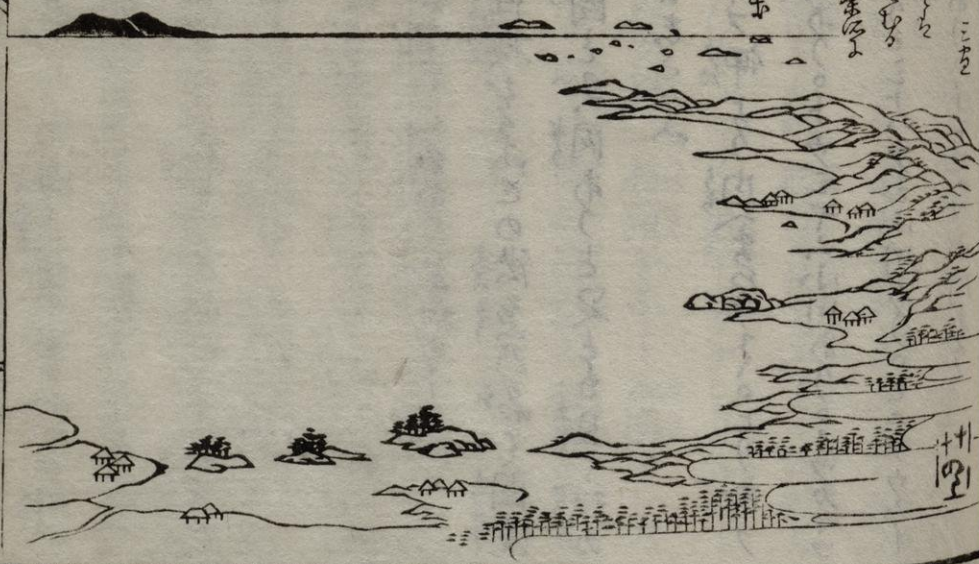
小川ありこままとと小川ありこ

インムいんムむ之の用もちくく又又町まちのの清きよありありり世よををもも船

七海道記下
五
花
月

子吉室の湾の図

とらつぬ 二カ
 元よひまを
 香こしら
 ちしぬ八余はよ
 るまき
 主店
 子



北海道中記下

左

文
 記
 門

十一
 四

シヤウより凡海上ニ至る。タラク周リ

凡空ニホツより凡野ニ。ニコタニ周リ

三十四とタラクより凡海上七と凡海救

クルコヤ 船をり洞あり 吳國の船も折る

舟をりよまらるるをり舟小樹本後

客居み至人客あり 異物多し

○英任按むるふこの徳急乃名を圍境

全圖と吳國ありと之とも且く弘の

説又志こがふ

ノツシヤフ 押より内へまわりく。ヒリカヲ

夕小川あり。トウシヤム小川あり。ノツカマフ

小川あり。シナハウシ小川あり。ヒニケウイ

を看場あり。子モロヘツ小川あり

子室

ニシベツク
海上七里

屋上屋をケ取人取面六十歩漢

小屋九母六ヶ岸小色々毎々

傳あり周り九町船ハ皆舟留み是る地形を

小ふ白ひくノツケと對一クナニリ湾のト

マリとむうひて一好灣をふ一北海才一乃

場取あり寛政度俄羅斯人我漂客光

去吏戎舟不へ後送一未是り産物ハ鯨海

鯨毘布煮海崩雜莫多一其外熊皮麻

皮あり九日町許あり。コエトイ舟取小

臺場あり。ホロモエリ人聚漢小屋を小

川ありノツケと對ま。ヲコ子トウ舟取沼

あり口九二町をかりあり周廻九七を。トウ

ハ二舟取フウレテ湖の蔭あり。トウフト

北流江口言下

去

文苑

閣

竹^み所^とも^ち湖^{うみ}の^な落^{おち}の^まあり。ア^リユ^タン^ノ
 泉^い漢^{わん}小^{せう}を^をあり。ル^エサ^シサ^ル小^{せう}川^{せん}ありと^とま^ま
 あり。ニ^ニベ^ツフ^フの^の上^{かみ}坐^まふ^ふ志^し原^{げん}き^き不^ふ
 と^と合^あを^を考^かぐ^ぐふ^ふ登^とり

蝦夷行程記卷之下

蝦夷行程記卷之下附録

江戸

阿部喜任纂述

伊勢

松浦弘校訂

○再任よりまた按あん東海とうかい馬蹄ばていの如ごとく連綿れんめんする者もの

多おほく世よふりの千嶋ちじまよりて蝦夷えぞ唐人てんじんの稱なづく

千ちユブカとこのごいひ舟ふね倍ばい考こうを即目すなはちの物もの紀きといふ

義ぎありて我われ

日ひ本の奉ほう本ほんよりて知ちるを寛政かんせい年間ねんかんに我版わればん図ず

み入いりて漢場かんじやう成なり開ひらきと

王わう化くわ小服せうふく後ごせりと為なす見み今いま徳化とくくわの正せい方ほう小標せうへうた

て遠えん傳でんの地ちなり

赤せき極ごく育よくあり

徳とく威ゐ光こうの海うみ外がわに溢あふる

いづれを死やそのまゝハ大あるりの十六あり小あり

の敷多一日と進む月とかがひひこのよ作

もまゝ援後してならんこと指と拘めて待じ

能津家 子モロ奴あう止宿をきき人衆あり是

より海上あるまうとを一或ハ三アともいふ海

も南風よりとを汐路急流のどくふ日とも

僅の海速あるとを患とさる程の海ありあらむ

群魚子利嶋

一名とラムシヤ島といふと都

弗加の才一名あり周囲九十二里余あり坤

より良位は長く東面ありはるる産地也

西洋人もこゝに所スターテエイランドと

いふと所作雜記ふんそんり

○クナシリ島(西都)

渡満在

(トカレ)

海陸三里撃

里上をみるく勤業の人殺由多

ちあトウ

名中の工以支死を地形西南に向

ちけん

むろ

ひくち六テレケウシ西ハツエトと對峙して

一灣形をなすノツケ。子モロと對する處多

わきま

水極早に夜まるは十六度フリースを四十六度

十分刻測量せり。形より海陸を

はなす

ちん

そのこ

難解ニマス。其外其他莫教多。海陸を

少くもはく。ホニタニベツ人處あり。セニベコタ

シ。ノツエト無不西南方一の仰あり。仰あり

とくく。シヤリカマフ表なき人處あり

。エヲロウシ表なきあり。今ヤラセワツカ表なき

あり。此處をみるくあり。こ道よりハ

くらや

か

撥送り。形よりとよ

北海道中記
文苑閣

平常嘉

モリスケ
海上六里

岩屋あり止宿すぐ丸二里をこ

ゆく。チリウシイシヨ太岩の出岬

ありこ目見ゆりて。シ子シユマサ一の砂浜と

過く。タタクヘウシとの大岩岬とすうりて

。イチヒシナイ砂浜あり。ホクシヤカラシエト

名の岬あり。フヨラマイス岩岬あり。熱浦

平磯あり。おのれおは家屋あり。今ハモシリ

ノスケへ移を社上は温泉あり。ワタラ砂浜

モシリノスケ 家屋あり止宿すぐ一社地居あり

モリスケ 向ひ一砂浜あり。おのれおは

く陸をゆくこと二里をかりあり。おのれおは

東岸のトウフツへ出るといふ岬辺平地の砂

浜あり海岸より陸へ平園あり。樹木少し

チフカルヘウ

ホニベツ

三里半

岩屋あり止宿まぐー人衆を陸に

平山あり溪へ西より向ふ。ウチヤル

千岩破あり。ウファイ子ウシ岩押をとりて。ヒ

レワタラ。チヤシウシ岩押をまぐる

ホニベツ

ヨニ子トウ

海上六里

又ホニベツヲシともいふ岩屋あり

止宿まぐーカナイシヤラといふ山

あり溪辺城をり大岩押をとりて。ヤニヘツ

岩屋あり止宿まぐー破砂のそあり。ホーコロ

マイ岩押れよまフレフニふといつるさるふあり樹

本あり。トシヨロ岩屋あり止宿まぐー岩乃

破とるさる。ルヨラベツ小川を。イヒカルウシ岩の窟

ヨニ子トウ

ニヘトロク

二里

岩屋を水あり止宿まぐーよま少

北海道中紀下 花 月

北海道中記下
文苑閣

松浦とあり。ニヤクシウシモイの宍岬岨とあり

。ホニトウ小川とあり。海濱岨とあり。ヲニヲナイ。

ヲシヨウシ岬辺より海濱岨とあり

シヘト口
岨屋を新止宿と云へ上平山と

三里
岨と樹本とあり。ニヤク岬と云へ

。ナエ、フシヤクベツ小川あり。陸へ平山とあり。樹木

あり。海岸の岨あり。ワタラウシ。カワリチ

トセ大宍岬とあり。東の方へあり

チヤシヨチ
ルニイ
子モ口あり。岨屋を新入家あり

七里
漢形岨とあり。沙地あり。レハウシ

。ヒレワタラ大宍岬とあり。クロ又エシロイトサキ

大宍岬とあり。トメカ大宍岬大難不。エハヲ

イ。カワリイソ大宍岬とあり。岬辺の海

上の波浪甚ありし少く山はまふひシントコト

對き砂礫あり

ル、イ
舟不昔々葦屋ありしが今のあり

アトイヤ
十二里
此地千ヤクノボリの林ありて濱あり

小まふひアトイヤ。又カリイソと對て湾形

岬あり南に千ヤクノボリあり川あり源を祖

父山の谷ふとる。ヲチニ岩の出岬あり。ニウ

ニツ砂礫あり。ソコホエ。エニコマ大岩の岬

あり。岬より陸路あり。風ありて陸をゆく

が。砂漠をゆく。イニツ小川あり。ヒロフ

陸より上り六湖あり。周りに二里余風よよましく

東にへもあゝの流るるありと。ニユラセ。小

海

北海道中紀下
花月

北海道中記
北
東
南
西
東
南
西
北

ニユラセ。ヲタチフ破漢あり。アカニコロベハ

あるアトイヤおんや巖を止宿あやをー此石工トロフ

の海うみに因付よの石あり此石ありアトイヤ石いと云

る堅利けんりある石い細こ毒どくを火打ひうち石いよををー

○クナニリ海東部

東ひがの海うみの六月より七月の中迄

みして其他そのハ皆みな西にし部ぶ城じやうをのま

渡満在い 軍えん上じやうをより船ふねありあり。チモロ

トウフツレ 工くわ。テレケウすま之の砂すな伸のびとよりて東

の海岸うみがはへ出いる元もと二に石いしあり。チフエカリウしは

不陸ふりくふく 終すまよまを洋やうのふととてえてトマリ

ある。シロ、ヲマベツ砂漢あり。ニライ此不

よりふよか休白雲しよはくうんの岩いと岸きと似にく此

千ヤク
 ンボリ之
 圖

千ヤク

千ヤクノ千ヤク

千ヤクノ千ヤク

我大恩の千ヤク

千ヤクノ千ヤク

アトイヤ

千ヤク

ル、イ

正
 正



北海道中記下

地

文苑

朝

辺東南うけの海岸あり。仲子シコタニ港と

聖む。ヲロクン子の岩神と云く。砂浜あり。

東武津

フルカマフヒ

六里

東武津人衆あり。濱形長己うけありて

地平う小砂浜あり。陸より水と云く

浪あり。砂浜より西のモシリノスヶへてある

あり。ホフケ大岩神。ヲシヨウシ砂浜。キナシ

リ。砂浜昔の人衆あり。今いあり。大岩神。ナフ

トマリ。ラウシ。砂と云く。小浜あり。ウエニチカフ。

コエキウシ大岩神あり。セライ。エシヨヤへツ

古加満婦。裏屋人衆あり。此地東より平地

一里半。みく小浜あり。砂港の東に砂一の

渚獵場あり。船泊するま。大岩神あり

砂浜と云て。チカフナイ又砂地あり。エカリヲ

寛政度は最上近後山田苔の諸島目お後

あつる島を未とて船をこの地は後

産物を取置さらる地船船産莫大

口莫其外新莫多。南の伸とイノシキ

。へ口タルベサキ大岩の伸あり地形西ふ白

岩破海くうり。ウエニクシ岩伸を西ふ白

て。サツコチ砂浜あり。タン子モイノシツ

磯平津

ナイホレ

丸里

茂産を氷ノ森あり此辺砂浜は

あつる平坦あり浜は西ふ白アト

イヤふ海くうり必この所くうり風行まるあり

此不三平野を平あつる此の谷地あり東

岸のルチヤロへ越る乃ありルタルへホリとモ

シリノホリ乃る坂あり

アンビツ川 城 濠 至 岩 嶽 せむく。タン子テシカ大

岩 岬 と 島 の 地 形 小 湾 を 亦 有。モエケニ 岸 小

近 小 島 あり 周 九 十 町 許 岬 辺 崎 嶇 多 一 此

小 湾 岬 風 多 一 難 場 あり。カハリシラリ 大 岩

岬 あり 岬 岬 と アツク ホリ の 岬 と 對 して 湾 を

亦 一 たり 船 を 行 と 志 一 一 ノ ン フ、ケ の 大 岩 岬

岬 波 づ づ。ヲシヨモエ。マカマイ 岩 岬 を 亦

。イヨフイコウニ 岬 岬 辺 福 亦 有 一 一 砂 地 へ

内 浦 ナイホ 岬 岬 人 亦 あり 岬 港 西 南 向 あり

十六里 ヲトイ 船 を 行 と 亦 亦 多 一 海 岸 の 亦 亦

及 十 七 八 町 許。カマイコタン 岬 より 亦 亦 岩 岬 の

岬 あり

ナイホ 亦 亦 風 崎 一 亦 亦 船 亦 亦 フウレツ へ

ゆくを。アツサノホリの東野系成こえ

ラタシツへ越さあり。川を海に三つと斗り

浜をこえく東野の工カヤ子フへ出るたあり

チフトマリの岩伸あり。アトサノホリ岩屋を

びえさるるふあり。遠祖あとも風景よく

よ。この出傍地あり。ニウシモイ大岩後

地形ゆるふ。ヲタシユツんき定許砂浜あり

。ヲタニマベツ二道よりハ岩屋後あり。トカリモ

イヌ後岩あり。イタシヘコリ海岸ハ皆岩後

あり。半後より上六樹木あり。ニトカルアルシ

岩ありありあり。サンホツチ大岩伸あり。

コイウシ。ヲワタラウシ大岩伸。トリカマイ

大岩伸中らあり。ウエシナイ小川ありあり

砂漠ありく船泊り

乙移

モトイと護り味へり

フウレツ
ルベツト
五里

地形西南よりひく小湾をふく船

そりまへへ来るおしとカルシノホリとせり

二あり。ウエンクニ。ニウシモイ。コロクニウシモ

正おどろきとも大岩の出傍あり

フウレツ
ルベツト
五里

形西より北地南より少の六あり川を真る

多し産物茶葉のみふかき

地所より所々まきまきチフニツへりあり

又所々より余茶終トシモイへ城あり

子エトヨマイ之岩あり激しき押あり。ア子口

七海道中記下
廿二
文苑
開

北海道案内
地名考
二五
支那

タラノト口大岩岬おおいえさき。ワツカシヤクモ上大岩岬

岬さきと云う。カシニケウシモイ大岩岬溪形

水あり。チフニツ川あり砂漠フウニツより

砂漠さぼくあり船泊ふねどまりをうり後ルベツ入いり

岬さきも風かぜ悪わるきと死しハ岬さき成なりかる。ウエニ

ベツ小岩岬と云く。ラシユウシ小岩岬。ナ

イボ砂漠すなばらあり昔岬むかし紀いノ巖いわ倉くらありいがい入いるま

志ツしへ引ひけテ。ラウシ小岩こいあり岬さき辺への上うへ皆みな

平ひら地ちもあき第だい海うみノ又小岩岬こい成なりる

ルベツ 岬さき倉くら人ひと取とりあり溪たに辺へ画え水みづあり

ラサウシ 陵たかねの方かた平ひら地ちワツカシヤクモイいと對むかひ

あき一いち湾わんと云いふあり岬さきをうりもより川がは

ありか一いち海うみ且かつ六む派はあり

此のよりの所を少くはく九三帯を津の
波と越の島を本島のトシモイへあるあり

ナイボ砂浜あり。ヲモエ。ヲヤコチ大岩岬

あり大嶺あり。シリモク口。エシヨハラウシ

大岩岬遠巖をびえたり。エラワタラ。チヤ

ラクセツ小瀬あり

ヲサウシ 裏屋を水人森あり溪形西少チ

アリモイ

二里

向ひ左より大岩岬あり廣よき

あり船乗りまへ

此のまぐルイより山あり少くあり

ヲトイマウシ大岩岬あり。ニシヨウシ大岩

岬とあり。ホシヲトイマウシ此辺へ来り海上

波静あり小岩岬とまへ

まへへん三田半^{むら}

フレウエシシリ。ナヨカ 此^{この}地^ちに^あま^まを^がり^まま^まへ^へ。イ

カハシノチ。ヤシケトボニ直^ちより^り岩^い礫^わ多く^くを^を

路^ろあり^が也

ツルツツノホリ^{おん}は^や後^ごち^ちく^くハ^ハ樹^{じゆ}木^ぼあり^ゆ岩^い礫^わハ^ハ岩^い礫^わ

レフ^レベシヨ。トウ^くへ^く暗^{あん}礁^{じょう}多^たく^く。カワル^カル^ルエシヨ

大^お岩^い洞^{わう}。イカ^いハシ^ハノ^ノチ^チ 此^{この}水^{みづ}身^み一^{いつ}の^の洞^{わう}あり^{あり}水^{みづ}の方^{かた}

へ^へま^まの^の洞^{わう}に^に岩^い礫^わ多^たく^くあり^{あり}。ヲ^ヲレ^レ子^こシ^シレ^レエ^エト^ト 此^{この}水^{みづ}

ツルツツノホリ^ツの^の水^{みづ}は^は多^たく^くある^る。シヨ^シヲ^ヲレ^レベ^ベ岩^い洞^{わう}あり^{あり}

。ヲ^ヲニ^ニ子^こベ^ベツ^ツ。シ^シヤ^ヤマ^マニ^ニク^クシ^シ 此^{この}水^{みづ}より^{より}水^{みづ}洞^{わう}あり^{あり}

へ^へト^トブ^ブ ^ま又^{また}ナイ^{ナイ}ホ^ホと^とツ^ツ 此^{この}水^{みづ}を^を人^{ひと}が^があり^{あり} 此^{この}

トウ^トフ^フツ^ツ ^い辺^への^の水^{みづ}は^は多^たく^くあり^{あり} ^し西^{にし}は^はツ^ツツ^ツフ^フノ^ノホ

五里

り^り東^{とう}西^{せい}の^の水^{みづ}は^は多^たく^くあり^{あり} ^し此^{この}水^{みづ}は^は元^{もと}より^{より}多^たく^くあり^{あり} ^し余^{あま}の^の洞^{わう}は

北海道中紀下

廿一

花間

去て海面の波浪より静あり船をりてを

登り。ベトブチ砂路と少一坊あり。トコチヤ社

取より平山あり。砂漠あり。ホニハモベツ川

あり。ビフ。ルチヤ口溪辺の西水向渡の方平山

樹木少あり。ハルカルウニ砂礫。ホロニユ社取

より先切岸あり。海岸平あり。ムニモシリ。

ヲ子モ丑。イカバニノ子。ハチヤリ。メダウ

ニといつ大岩あり支よりまご押取こえり

トウフツ
支屋泥の傍より社形跡あり

一里余
中せまき又廣一倭西少より以南の

方岩嶺跡より押取。ニヨモイ。トイタツ岩押取

ヲトイマウニ
支屋を人取あり溪辺の西より砂

一里半
平山左右大岩押あり其の少一砂

嶽ありて小湾をふまき松をりまべー。ヲツ子シ大

岩岬。マトシヨハツ。ヲツトテシカ。ワタラフウシ

。コタンシユレベツ川を又濠あり

マクヨマイ 濃をき水くある漢ハ雨ふるの漢ハ

ニベトロク

三ツ八木

平ふぶれあり。アフィンルイナハトエ

岩岸のトあり。フ子ヒナイ。チヤラリセベツ。

カハリエシヨ大岩岬をままところ。ヲツタラ。ア

カ子フ大岩岬とあり。ヲシ子モシリ 飛岬と白

子砂漢を他くはる

シニトロ

トシラリ

大岩屋人おあり漢ハ西の小川あり

海陸一里

舟上は浪ありあり九二平岸四方平

ふよしく水ありありアトイヤノホリ又の船

船泊りあり 英欄多きなる 鞆主人出張を岸を

くしレエト傳あり。ヒライトト岩押とありく砂
漢無わよりトミラリ追歩ウチチ路あり。ヒン子へ
ツ。ヲモへツ。イヲロウシ岩押とありまハ

トミラリ

是れ女史傳の

まハヤ 漢書を新余承を漢唐の茶田面史

アトイヤルあー

いそ 破ありく出押の落よ船をりを仲あき

近ちかくトミラリとのふ岩傳あり。ヲニ子ワタラ

岩押あり。エトヒリカライ大岩破あり。レブ

ニエミヨ大岩。モシレエト所無岩傳の旁ウラハ一山の

如押ありありありあり。ヲツトコモシリ小傳あり

舟よりアトイヤノホリとのふありこのふあり舟フネあり

アトイヤメクシニエ。シヨルイベツ。ミウエンモイ

メクシラキツニエ

。ヲニ子ベツ小川ありハカ舟のゆり。トカ

リシユイ大岩押ありあは。ヲキベツモヨロニエ。大岩あり

香島

いり人の住り乃
と島のまふも
都のもう
まあらん

ラウキ
の
へつ之
図

トヤホ

トヤロ

アトイヤ

モロ

トヤホ

比海領

比海領



コロシヤ^ヤチ^イニ
 係^{ドカ}再^ト新^ニ人^ノウルツ^フ傳^ハより^シ後^ニ來^ルの^トれ^ハ無^ク船^ノ務^ヲ
 の^中海^ニ中^ニ亦^モ落^ク怒^ヲ漢^ノの^送傷^ヲを^多致^ス樂^メ的^ト
 と^スく^テ渡^ルる^{コト}あり^ニ岩^ノ岬^ヲと^シテ^ト少^クゆ^クぬ^ル。ホ^ニシ^テ
 レ^ニエ^シヨ^ク大^ニ岩^ノ岸^ヲを^多く^シ冠^ス不^クあり^ニ。ヨ^ハツ^テエ^シ
 ヲ^ク大^ニ岩^ノ岸^ヲま^ラす^{コト}。ヨ^ニ子^ベシ^ユイ^ニ船^ノ邊^ヲより
 砂^ノ漢^{アリ}。モ^ヨロ^ク砂^ノ漢^{アリ}船^ノ不^クま^ラず^シ坂^ノ西^ニ於^テ
 と^スく^テ以^テ下^ニハ^シ皆^ク末^ニ終^スる^ノ屬^ト也^ト

○愛等侶府島東郷

イクムシクナヅリ碇^チより^シの^海り^ハあり^ニヘル^タ

ル^ノの^東あり^ニ近^ク來^ル人^ノが^多あり^ニ。タ^ニ子^テシ^カ

東^ノの^出岬^{アリ}あり^ニ道^ニより^シツ^リル^ノの^岩岬^ヲを^シ

ま^ラす^{コト}。イ^チル^イラン^ノ又^シ大^ニ岩^ノ岬^ヲを^シ

。ヲ^レ子^ベツ^ク砂^ヲを^多あり^ニ船^ノ邊^ヲより^シた^ス

ワ砂岬あり。ニテ成島うく砂浜。ウエニツ。ラン
子ベツ カニチシ トシモエ 砂浜あり。小川あり。此辺平地

濱取右ウエニベツたへシヨフ子と對て ハム 下濱をあり

トシモエ ウエチヤウヤ 此所宜上登より ハ 乃あり人衆

ルチヤロハ
十里

トシモエ ハム ヤマダ 去る見夷の者住まふ。此平地あり

砂浜あり。濱ハ辰己 ニツトウキ 与あり。少一の濱をあり。へ

シヨフ子 ニツトウキ 此よふ ニツトウキ 泊あり。子子エシヨ ナニガ 此所砂浜

此より ニツトウキ 大岩岬。ヲン子アカ子フ。ホトヨエ濱

ハ辰己 ニツトウキ 向あり。大岩岬上 ニツトウキ の方 ニツトウキ 崎々としてをび

雲ふ ニツトウキ あり。樹木 ニツトウキ 多し。ホヘチカラマへツ。

ホキシエシヨ。カイワタラ。サシウシ。シニリ

ワタウシベツ。モエマト。フユウニ大岩岬

まらりく。ヲツチシ。イクンシ。砂浜あり。此所

まぐ海岸なみ悉く巖石いざなで成あり砂漠をかく
かたて小川あり

北ルチヤロ

モヨロク

元女王

此地このち終の溝とがをまき此水このみづより成

みく西あづま於トウブツの西ルチヤロへ

こゝる及ありま亦また小をこありこ曉くは煙け多たし。チツ

チキ。ノリカルウモ岩い伸のあり此こ辺へより岩い破は

みく及みありち。イカバニい十じ。ホチラツカ大お岩い

伸のあり。ヒツトクウシモイ。カイワタラ此こ水みづ大

岩い如ごと伸のとく。トシルリ。アトへウトルンベ。エシ

ヨニツシヨ。ンヤリへチコハヨフユナイ。ヨタヨマへ

大お岩いとと大お岩い燃もくもるもあり。シラリカウシワタ

ラ。セエラせのの巴しの方かた伸のあり。エシヨウマ大

岩い辰たの方かた伸のとく。エシヨシしト。ヒチ

ウシシエト。アトウニエ、シヨ大岩仰あり世不
ウツブ傳と對峙して郊の方才一の仰あり元
交よりウルツプまぐく十英里條あるべし。ホヒリシ
ヨシモエ世不遠影岸ありと及あり兼路ハ砂
漢あるあり **モヨロ** 小島あり東の平大漢あり
城せざる由多人数あり只トシモイ人衆あり
其外より人烟なく荒陬とありも遠眼あり
加ハ雑化地圖と云ふと小長丈息と云ふ
が遠般き船の地まぐ
以格育のあり豈飲毒まぐくぎんや

蝦夷行程記卷之下附錄終

阿部將翁著述
松浦竹四郎校正

安政三年丙辰冬十一月發兌

日本橋通十軒店

江戸書物問屋 播磨屋勝五郎藏板

○文苑閣蝦夷書藏板發行目錄

蝦夷闔境輿地全圖 全九枚接

同海陸路程全圖 小野寺鳳谷著

同行程記 阿部將翁著
松浦多氣志樓校合 全二冊

同壺の石 路程便覽
多氣志樓主人著 全二枚接

同おろの石 産物便覽
多氣志樓主人著 全二枚接

同方言藻鹽草 全二冊

北蝦夷圖說 間宮倫宗著 全四冊

千引の石 箱館路程便覽
多氣志樓主人著 全二枚接

諸國

京都寺町松原下丸

勝村 治右衛門

同 三條通榭屋町

出雲寺文治郎

大坂心齋橋通安堂寺町

秋田屋太右衛門

同 博勞町

河内屋茂兵衛

江戸日本橋通一丁目

須原屋茂兵衛

同 二丁目

山城屋佐兵衛

同 芝神明前

岡田屋嘉七

同 淺草草平町二丁目

須原屋伊八

同 十軒店

播磨屋勝五郎

仙臺國分町十九軒

菅原屋安兵衛

宮館大黒町

林屋義助

賣

書林

